

就職活動を通して

農学部 農業経済学科

ヤマトシステム開発株式会社

私の就職活動は、10月から始めました。まずは、どんな会社があるのか知るために、インターネットで調べて、合同説明会や企業説明会に積極的に赴くようにしました。しかし、会社に行っただけで満足してしまい、就職活動をやっているという気持ちになってしまいました。本腰を入れ始めたのは、1月くらいです。年内に企業を色々回る中で、自分は何をやりたいのか、何が出来るのかということを考え、軸を決めていきました。私は、専門的な仕事をしたいと思い、システム系の会社を希望していました。しかし、2月から面接が始まったのですが、『専門的な仕事がしたい』という志望理由では、次のステップに進むことができませんでした。何回も面接の回数をこなすうちに、企業側にとって学生が何を出来るのか、会社のことをきちんと知っているかということをお求めているのだなと感じました。人によっては、何十社も受けて、数をこなしていく方法もあると思います。私は、全部で20社ほどしか受けていませんが、一つの会社に対して割く時間を増やしていきました。4月に志望していた会社から内定をもらったので、そこで就職活動を終了させました。

私は、就職活動を一人で抱え込まないように気を付けていました。自己分析をする時も自分一人で見つめ直したあとに、友人同士で他己分析を行い、より深めていきました。また、就職活動中もインターネットの情報だけでなく、友人と話すことで確実な情報を集めていきました。就職活動のやり方は、人それぞれだと思っています。周りがあんなことをやっているから、私もやらなくてはではなく、自分の信念と軸を持って行なってほしいと思います。